

令和4（2022）年度 第2回地域包括支援センター運営協議会 議事要旨

- 1 開催日時 令和4（2022）年11月9日（水）午後3時30分から午後5時00分まで
- 2 開催場所 市役所1階 多目的室
- 3 出席者 **【委員：9名】**
阿部委員、杉本委員、佐藤委員、金子委員、西巻委員、宮崎委員、藍澤委員、池嶋委員、土田委員
【地域包括支援センター：2名】
北地域包括支援センターにしやま
西管理者、石田保健師
【認知症初期集中支援チーム員：2名】
丸山作業療法士、平原作業療法士
【事務局職員：8名】
山崎福祉保健部長
介護高齢課
土田課長、金子課長代理、真貝課長代理、金子係長、大矢主任、寺尾主査、田中主事
- 4 会議資料
 - ・次第
 - ・座席表
 - ・資料1 北地域包括支援センターにしやま 活動報告
 - ・資料2 認知症初期集中支援チーム 活動報告
 - ・資料3 介護サービス事業者選定委員会の選定結果（当日回収）
 - ・資料4 令和4（2022）年度 地域包括支援センターの公正・中立性評価について
- 5 議 事 **報告事項**
(1) 地域包括ケアに関することについて（北地域包括支援センターにしやま活動報告）
(2) 認知症初期集中支援チームの活動報告について
報告事項
(3) 北地域包括支援センターにしやまの委託候補法人について
(4) 令和4（2022）年度 地域包括支援センターの公正・中立性評価について
- 6 会議内容
事務局である介護高齢課長が次第に沿って会を進行する。

(1) 開会の挨拶
山崎福祉保健部長が挨拶。

(2) 議事

阿部会長が次第に沿って議事を進行する。

報告事項

ア 地域包括ケアに関することについて

資料1に基づき、事務局及び北地域包括支援センターにしやま職員が説明。

【意見、質疑応答】

(委員)

「公助」が当然という感覚が強いとあるが、そういう方々の意識を変えるポイントはあるか。

(北地域包括支援センターにしやま職員)

互助の大切さを地道に継続的に伝えている。

(委員)

地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携がとれていると感じている。コミセンのセンター長や職員と寸劇をしたこともあった。人とのつながりが大事なことであることを伝えている。

イ 認知症初期集中支援チームの活動報告について

資料2に基づき、事務局及び認知症初期集中支援チーム員が説明。

【意見、質疑応答】

(委員)

認知症かどうかの判断がつかない方で、地域包括支援センター等への相談をためらっている方もいるのではないか。そういう場合、どうしたらよいか。

(委員)

基本的には、どの程度であっても相談していただいて構わない。そこで専門職から助言を受けていただきたい。

承認事項

ウ 北地域包括支援センターにしやまの委託候補法人について

資料3に基づき、事務局が説明。杉本委員、佐藤委員が補足。

【意見、質疑応答】

(委員)

地域包括支援センター業務の大変さは重々承知している。既に地域で事業を展開されていることは良いことである。以前の地域包括支援センターは、法人の地域貢献という形で事業展開していたが、ここ最近は本体の介護保険事業の維持が大変な時代である。新しい委託法人に対してぜひ行政の支援をお願いしたい。

また、人員配置について、元々施設にいる職員を地域包括支援センターへ異動させることは容易だが、業務内容が異なるので、契約に向けた協議の際は、そのようなことも含めて説明いただきたい。

(阿部会長)

承認してよろしいか。

※一同承認

エ 令和4（2022）年度 地域包括支援センターの公正・中立性評価について

資料4に基づき、事務局が説明。

【意見、質疑応答】

（委員）

西地域包括支援センターあかさかやまに偏りがあるのは、距離が問題なのか。

（事務局）

上越市寄りの地域については、どうしても距離がある。複数人の利用者がいれば受け入れていただける場合もあるが、単独での利用では効率性の観点から断られることが多い。

（委員）

上越市の事業所は利用できないのか。

（委員）

地域包括支援センターは、要支援の方の担当になり、使えるサービスは総合事業である。市内に住所がある方は、市内のサービスを使うように定められている。手続きをすることで、上越市の事業所を使えなくはないが、これまで断られている状況である。シルバー人材センターは、市内中心地から離れた地域であっても地元の方がおり、引き受けていただける場合が多い。

昨年度は、柏崎市社会福祉協議会の訪問介護を利用していた方で要介護となった方や、亡くなった方もおり、今年度は、シルバー人材センターの割合が高くなっている。

（委員）

人材不足により、依頼されても断る場合があるが、事業所としては、なるべく受け入れを拒否しない姿勢である。コロナの影響で離職者が増えていることも要因の一つである。

（阿部会長）

承認してよろしいか。

※一同承認

（3）事務連絡

- ・資料3については、協議会終了後に回収する。
- ・第3回地域包括支援センター運営協議会は3/1（水）又は2/22（水）を予定している。決まり次第改めて案内させていただく。

（4）閉会